

きんこう

議会だより



発行：錦江町議会

編集：議会報編集委員会

〒893-2392

鹿児島県肝属郡錦江町城元 963番地

☎(0994) 22-3045 (直通)

2020年 No.60
12月定例会

Pick
UP

豚コレラ侵入防疫対策柵設置事業
補助金779万1千円など可決!

せっがいの 炎よ高く 燃え上がれ



12月定例会
所管事務調査

2～5頁
6～7頁



議員研修会・自主研修
一般質問

8頁
9～13頁

12月定例会

令和元年第4回定例会は、12月5日から19日までの15日間の会期で開催しました。今定例会では、補正予算5件、条例制定4件、条例改正8件、陳情1件等を審議しました。また、5名の議員が一般質問しました。

条例

農業委員会の委員の定数が14人になります

国の法律の規定により、農業委員会の委員の定数が次の任期（令和2年7月20日）から15人が14人になります。

錦江町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部が改正されました

所得税法の一部を改正する等の法律の施行により、「控除対象配偶者」が「一生計配偶者」に改められました。

錦江町子ども医療費助成条例の一部が改正されました

住民税非課税世帯の未就学児を対象に医療機関等での窓口負担をなくす制度が導入されましたが、助成金の支払方法に関する規定が遺漏していたため、今回明記しました。

国民健康保険税の減額又は免除される条件が変わりました

後期高齢者医療制度と同様の保険料負担軽減措置が講じられることになりました。詳しくは、住民税務課または住民生活課へ。

錦江町職員の給与が改正されました

令和元年人事院勧告に基づき、給料表の平均0.1%及び勤勉手当支給率0.05月分引き上げられ、住居手当の改正も行われました。

町長、副町長、教育長、議員の期末手当が改正されました

町長、副町長、教育長、議員の期末手当の支給割合が0.05月分引き上げられました。

錦江町創業支援施設が整備されました

大根占中央商店街にある空き家（旧・濱園商店）が新しい起業者の育成や新たな交流の場として活用されます。

錦江町職住近接型施設が整備されました

国道269号線沿いの神川キャンパス周辺にある空き家（旧・林建設事務所）がサテライトオフィスや起業型移住者の誘致施設として活用されます。

錦江町ポケットパークが整備されました

大根占中央商店街にあった空き家（旧・池田病院）跡地が、地域住民の交流、憩いの場として活用されます。

錦江町木質バイオマス熱電併給施設が設置されました

田代支所裏駐車場に木質チップを燃料として利用する木質バイオマス熱電併給施設が設置されました。これは、防災拠点施設、避難所及び水源施設に電力と熱を供給し、地域の防災・減災と低炭素化を同時実現するための施設です。



完成した錦江町ポケットパーク



豚コレラ侵入防疫対策柵設置事業補助金 779万1千円など可決

一般会計2件・特別会計3件の補正予算を原案のとおり可決しました。
各補正予算の主なものは、次のようなものです。

一般会計

ふるさと納税事業に係る手数料 1,290万円
返礼品・返礼品送料・業務手数料等

高速通信インターネット網整備負担金 △1,408万円
事業費確定による減

自治会簡易水道事業補助金 102万6千円
笑喜第2水道組合ポンプ改修

農地中間管理事業機構集積協力金 590万円
地域集積協力金（牧原地区） 530万円 経営転換協力金 60万円

豚コレラ侵入防疫対策柵設置事業補助金 779万1千円
町上乗せ5%分 (国庫1/2、県40%上限180万円、受益者負担5%)

木質バイオマス施設管理運営委託 182万3千円
令和2年1～3月分

急傾斜地崩壊対策工事 △1,500万円
県営事業へ移行（宮ヶ原地区）

工事請負費 500万円
町道神川線変更分

国民健康保険事業

療養給付費（決算見込みによる増減） 5,483万6千円
一般被保険者療養給付費 6,092万8千円 退職被保険者等療養給付費 △602万1千円 退職被保険者等療養費 △7万1千円



木質バイオマス熱電供給施設の外観（完成）

介護保険事業（保険事業勘定）

介護サービス等諸費 3,900万円
居宅介護サービス給付費 2,850万円 地域密着型介護サービス給付費 2,650万円 施設介護サービス給付費 △2,050万円 居宅介護サービス計画給付費 450万円

簡易水道事業

簡易水道事業基金元金積立金 472万8千円
余剰財源による積立

議案に対する各議員の賛否状況

令和元年第4回 定例会（12月議会）

議案番号	案 件 名	賛否の結果									
		厚 ヶ 瀬	浪 瀬	染 川	池 迫	池 田	川 越	笹 原	小 吉	中 野	馬 込
議案第65号	令和元年度錦江町一般会計補正予算（第4号）	簡易表決で可決									
議案第66号	令和元年度錦江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	簡易表決で可決									
議案第67号	令和元年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）	簡易表決で可決									
議案第68号	錦江町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の一部を改正する条例	簡易表決で可決									
議案第69号	錦江町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例	簡易表決で可決									
議案第70号	錦江町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	簡易表決で可決									
議案第71号	錦江町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	簡易表決で可決									
議案第72号	令和元年度錦江町一般会計補正予算（第5号）	簡易表決で可決									
議案第73号	令和元年度錦江町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	簡易表決で可決									
議案第74号	錦江町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	簡易表決で可決									
議案第75号	錦江町町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	簡易表決で可決									
議案第76号	錦江町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	簡易表決で可決									
議案第77号	錦江町創業支援施設の設置及び管理に関する条例	簡易表決で可決									
議案第78号	錦江町職住近接型お試しサテライト等オフィスの設置及び管理に関する条例	簡易表決で可決									
議案第79号	錦江町ポケットパークの設置及び管理に関する条例	簡易表決で可決									
議案第80号	錦江町印鑑条例の一部を改正する条例	簡易表決で可決									
議案第81号	錦江町木質バイオマス熱電併給施設条例	簡易表決で可決									
陳情書第8号	家族従事者の人権保障と女性の活躍を促進するために所得税法第56条の廃止を求める意見書を国に提出することを求める陳情	簡易表決で採択									
発委第2号	家族従事者の人権保障と女性の活躍を促進するために所得税法第56条の廃止を求める意見書	簡易表決で可決									

※簡易表決とは、あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず、「異議ありませんか」と諮ることにより賛否を問う採決方法です。

※議長には、表決権がありません。

各種団体の皆様、 議会議員と意見交換をされませんか。

錦江町議会では、町民の皆さんがもっている課題など幅広く意見をうかがって、その対策を町政などに反映させていくために、意見交換会を開催するように、議会基本条例で決めました。希望される団体等がありましたら、議会事務局へ申込用紙が準備してありますので、直接申し込むか、若しくはメールで申し込んでください。なお、自治会若しくは町内の団体に限りますので、個人では申し込むことはできません。

[Eメールアドレス：gikan-h@town.kinko.lg.jp]

あなたの陳情を審査

家族従事者の人権保障と女性活躍を促進するために
所得税法第56条の廃止を求める意見書を提出

家族従事者の人権保障と女性活躍を促進するために所得税法第56条の廃止を求める意見書を国に提出することを求める陳情

内容

税法、民法、労働法や社会保障上でも家族従事者の人権保障の基礎をつくるため、また、女性の活躍を促進するためにも、所得税法第56条が廃止されるよう、国への意見書の提出を求めるものです。



採択とし、内閣総理大臣などに意見書を提出

採択の理由

以前もこの内容の陳情が出されたが、今回は政府も成長戦略の一環として女性の活躍を挙げており、国連女性差別撤廃委員会も政府に対し、所得税の見直しを勧告しているなど、女性活躍の時代へと変わってきている。

女性の活躍と所得税法第56条の廃止は、国としても困難な問題であると思うが、家内労働であっても、実際に働いているので、給与を経費として認めるべきである。

請願・陳情の仕方

町政等についての要望等を請願書や陳情書として、どなたでも町議会に提出することができます。

(作成について)

- 左記は、陳情書の様式になります。
- 請願書については、紹介議員の署名、記名押印が必要です。この場合には、「(件名)〇〇〇〇についての陳情書」の部分を請願書として作成してください。
- 陳情者の住所、氏名、押印は必須です。
- 法人の場合には、所在地、その名称及び代表者の氏名を記載し押印してください。
- 陳情者が複数の場合は、その代表者を明記してください。
- 陳情者の住所、氏名は一般に公開されます。
- 陳情者は、1件ごとにその趣旨を簡明に記載してください。また、必要によっては地図や写真等を添付してください。

(提出について)

- 陳情書は、議会事務局に提出してください。原則、受付日以降に開会される定例会で審議されます。
- 定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)です。※ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

(☎22-3045)

(陳情書の様式)

〇年〇月〇日
錦江町議会
議長 〇〇〇〇 様
(陳情者) 住所
氏名 (印)
電話番号
(件名) 〇〇〇〇についての陳情書
【趣旨】
.....
.....
.....
.....

日田市と香春町の取り組みは？

九州管内所管事務調査

令和2年1月15日から17日にかけて、九州管内所管事務調査を実施し、大分県の日田市バイオマス資源化センター、福岡県香春町の取り組みについて調査しました。

日田市バイオマス資源化センター

～メタン発酵発電施設について～

日田市ではごみ分別の細分化など、ごみの減量化に向けた取り組みを進めていたが、可燃ごみの減量が課題となっていた。

また、養豚農家は適切な処理設備の選択に苦慮していた。そこで、生ごみと豚糞尿を主原料としたメタン発酵発電施設の整備検討を進め、日田市バイオマス資源化センターが平成18年に供用開始した。

センターでは生ごみや豚糞尿、焼酎かすなどの資源物からバイオガスを生成し、これをガスエンジンの燃料として活用して、電力



メタン発酵槽

や廃熱を生み出している。平成25年10月から全量売電を開始した。

メタン発酵後の消化液の一部は加熱殺菌処理後、液肥に利用されており、市内16か所の液肥タンクで無料配布している。残りの固形分は堆肥化し、1袋50円で1人20袋までとして販売している。汚水は施設内で一次処理後、下水処理場で最終処理し、河川放流している。計画規模は、80t/日である。

質疑回答

Q 糞尿は何で運搬するのか。

A 6トンバキュームカーで往復している。

Q 職員は何人従事しているのか。

A 市職員5名、業務委託業者7名の計12名が従事している。

Q 液肥を無料で配布しているとのことだが、市民はよく利用しているか。

A 日田市は田んぼが少ないため利用者は限られている。2週間で空になる所もある。

香春町

～耕作放棄地と空き家を活用した移住施策について～

香春町の高齢化率は約40%であり、人口減少及び少子高齢化が急速に進行する中、いかにして「ひとの流れ」をつくるかということとを町は議論した。

「雇用場がない」「空き

家が多い」「耕作放棄地が増えている」等の「弱み」を「強み」として捉えるという逆転の発想から、**※「半農半X」**プロジェクトを軸とした移住交流の拠点（採銅所駅舎内第二待合室）、町独自の農地バンク制度、かわら農業塾など特色ある移住施策にたどり着いた。

※「半農半X」
：自分や家族が食べる分の食料は小さな自給農でまかない、残りの時間は「X」（自分のやりたいう仕事に費やす）という生き方。

質疑回答

Q 住む場所と農地については町が全力で斡旋することだが、住宅は十分確保できているのか。また、その確保対策はどのような方法で行っているのか。

A 確保できている。区長に呼びかけるなど空き家バンク登録のチラシを広報誌と併せて配布している。

Q 「第二待合室」でのスタッフの業務に移住

相談やイベントづくりとあるが、イベントはどのような内容か。

A ピザ窯作りや、蜜蝋ラップ作り、山頂ピクニックなど多くのイベントを行ってきた。

Q 「半農」支援策の「かわら農業塾」の講師は、どのような方が務めているのか。また、その報酬はどのような形で、どの程度支払われているのか。

A 認定農業者や野菜生産者など町内7名の方に務めていただいております。1回1万円支払っている。毎週水曜日に月4回行っている。

Q 「農地バンク」と「農業委員会」の兼ね合いについては、農地バンクⅡ町外、農業委員会Ⅱ町内というイメージだが、条件のいい農地などは、町内農家から苦情は出ないか。

A 地域の担い手に話すなど職員が調整しながら行っている。苦情はほとんどない。

研修を終えて

香春町は、福岡県の東北部に位置し、6割強を山林が占めている緑豊かな町である。交通の要衝であり、

福岡・北九州両政令都市へのアクセスが良好な為、「都市間田舎」をキャッチフレーズにしている。特産品は陶芸品、たけのこ、干し柿、ゆず、れんげ米である。人口は1万1千人で、高齢化率40・5%を占め、非常に高い。

主な産業は鉱業（セメント産業）で、かつては賑わいを見せていたが、現在は減少している。

香春町の現状は農業者の高齢化が顕著で、新たな担い手が不足し、荒廃農地が増加しており、町の三方が山で囲まれているため鳥獣被害も多い。（錦江町の現状と酷似している）

そこで香春町は「かわら農業塾」を立ち上げ、認定農業者を講師に依頼し、土

づくり、畝立て、マルチ張りなどの農作業や野菜ハウスの見学、土壌、肥料、農薬についての座学、協力隊と連携して夏野菜収穫などのイベントを行った。

取り組みの結果、かわら農業塾生が仲良く、楽しく農業を学び、イベントなどをフェイスブックで、どんどん発信している。また、町外からの受講者を受け入れた結果、縁が生まれ、香春町の農地を借りて耕作者が増えた。また、協力隊との連携強化、業務委託の必要性が生じた。

町が「農地バンク」を立ち上げ、貸したい人と、借りたい人の中を取り持ち、GIS（地理情報システム）を活用した結果、登録農地の情報がつぶさに分かり便利になった。

空き家バンクの成約数が以前は年に1件平均であったが、平成28年度からこれまで35件もの実績を挙げている。

「地域おこし協力隊制度」

によるイベントを行うことで、若者のチャレンジが増える↓変化が見られる↓香春町のファンが増える↓地元若者の流出を抑える・移住者も増えるという正の循環を築いた。その結果、社会人口減を食い止めている。（現在3名増に転じている）

香春町では、地域おこし協力隊の活躍が、役員職員や町民の意識改革につながっている。錦江町も、各種のイベントを行いながら、交流人口を増やし、その延長線上に移住者の増加を図る必要がある。

総務厚生常任委員長

池田 行徳



香春町役場正面玄関にて

香春町では、人口減少や農地の耕作放棄地の解消を図るために農地バンクの立ち上げや、農業塾の取り組み、空き家バンク等を取り組まれている。

地域おこし協力隊を受け入れ、「JR採銅所駅」を改装し、平成29年にオープンした移住交流の拠点「採銅所駅舎内第二待合室」のスタッフとして活用し、お試し移住や移住・交流の拠点としている。また地域おこし協力隊自らが実施している活動報告会は人気があり、活気が出ているのとである。

「空き家バンク」では28年度から令和元年度までの4年間で61件の登録があり、35件の契約となっており、「農地バンク」については、農地の利用促進及び耕作放棄地の解消を図るため必要な事項を定め実施されている。

「農業塾」の取り組みでは、土を知らない農業の初

心者から町内外のベテランの参加者を受け入れ、町民・移住者・町内外在住者が交流を深めながら楽しく学ぶ『半農』の普及が促進されている。

本格的な農業ではなくとも移住者が自給的な家庭菜園レベルから気軽に楽しく取り組める環境が提供されている。

農業塾でも地域おこし協力隊の方々が中心となり、参加者と一緒に研究・実験等を始めようとしていることである。また、初心者の方々の農地の見回りを農家の方々が月3万円位で指導に当たっている。

全体について地域おこし協力隊の方々の活躍が移住者を増やすための呼び水となっている。

地方創生まちづくり

調査特別委員長

笹原 政夫

町村議会議員研修会が開催されました

令和2年1月28日に鹿児島県町村議会議長会主催の議員研修会がホテルウエルビューかごしまにおいて開催され、29日は始良市の鹿児島県防災研修センターにおいて自主研修を行いました。

議員研修会

講師のジャーナリスト・

須田 慎一郎氏は「どうなる政治・経済／日本再生のために何が必要か」と題して、またジャーナリスト・二宮 清純氏は「二宮清純が語る『スポーツの力』」と題して講演会が開催されました。

須田氏の講演では、長崎県五島列島の取り組みや最近の若者の動向などを具体例に取り上げ、

・これまでの経験則や成功体験に頼ってはいは、向上できない。変化を前向きに捉えてほしい。

・物事の本質を見極め、新しいことにチャレンジし、対応力を身に付けていく

自治体が成長していく

ということを講演されました。

二宮氏の講演では、

・One Team (ワン・チーム) の定義とは、「誰にでも居場所・役割・出番があること」である。

・スポーツは地域振興に大きな役割を果たし、人口流出「抑止」効果がある。

・若者が田舎を離れる理由は①働く場所(受け皿)がない、②街に娯楽が少ないことである

と講演されました。

本町においても時代の変化を前向きに捉え、人口流出抑止のためのアイデアを模索しながら、地域振興に向けた取組みを進める必要があると感じました。

自主研修

担当の馬場ひとみ氏から火山災害、風水害・土砂災害、地震、火災について、大型のスクリーンや模型等の展示施設を使って、鹿児島の災害への備えなどを分かりやすく解説していただき、また、乳児・小児・成人それぞれに対する心肺蘇生とAEDの操作について体験訓練を行いました。



地震コーナーでの研修の様子(地震による家屋倒壊について)

●火山災害：日本の火山の1割は鹿児島県にあり、火山の分布はほぼ一列に並んでいる。

●風水害・土砂災害：土砂災害が発生すると別の場所でも2次災害が起きる可能性が十分ある。災害に備えて一家庭一人ずつ用の非常持ち出し品を準備しておく。また、非常時に公衆電話を使用するときのために小銭は必要である。

●地震：津波の速さはジェット機と同じ位である。地震の備えとして、食器棚の上部に突っ張り棒を設置する、ガラス等の表面に飛散防止シートを貼る、家具の底に滑り止めを敷く、など家具の設置においても防災・減災の工夫をすることが重要である。

●火災：消火器は使用期限を確認し、正しい方法で使用する。



心肺蘇生・AED体験訓練の様子

●心肺蘇生・AED：AEDの設置場所の確認に心掛ける。

・AEDが指示する説明通りに正しく行う。
・周囲の人と協力し合って行う。(コミュニケーションの重要性)
いざという時のために知っているのと知らないのとでは大違いである。今回学んだ情報を家庭や自治会などで共有することが重要だ、という言葉が印象的でした。



池田 行徳 議員

教育施設

田代中央運動場の
トイレ改修の
考えは

教育長
来年度予算で一部和式便器を残しながら、洋式便器への改修をする方向で取り組みたい

える。この水源地自体の水量があまり豊富でない。

Q 田代中央運動場のトイレには洋式が少なく、町民から不便だとの声があるが、改修の考えはないか。

A **教育長** 洋式便器は、身障者用として1基あるのみ。足の不自由な方や高齢者の方に大変不便をきたしている。来年度予算で一部和式便器も残しながら、洋式便器への改修をする方向で取り組みたい。

Q 田代中央運動場以外にも町内の運動場などで教育課が担当する改修の必要があると考えているトイレがあるか。

A **教育課長** 田代地区は武道館を改修していかなければならないと思う。池田、大原学習センターの方も今後利用状況をみながら検討したいと考える。

Q 大原小学校のプールへの注水に不便をきたしている現状をどのように把握しているか、また対策をどのように考えるか。

A **教育長** 大原地区は町営水道が来ておらず、プールの水問題は以前より問題視されていた。小学校周辺の集落水道と町営大原住宅に供給している町の簡易水道施設から併用して注水している現実がある。どちらも豊富に使える水量ではなく、注水時間を

調整して現在行っている。プールが満杯になるには約2週間程度必要である。新たな水源を掘削し、施設の整備を図る必要があるが、多額の建設費が必要であると認識している。

Q 現在のポンプの容量や能力について、改善されるような考えはないか。

A **教育課長** 現在順調に稼働しているのので、取り換える必要はないと考



大原小のプールへの注水は地域住民の協力のもとに行われています



すべての利用者にとって使いやすいトイレへの改修が望まれます



小吉 昭弘 議員

環境整備

神川大滝の環境整備についてどう考えているか

町長

予算を増額し、除草作業を継続して環境の整備に取り組んでいこうと考えている

Q 神川大滝の環境整備についてどのように考えているか。

A 町長 予算を増額し、除草作業を継続して環境の整備に取り組んでいこうと考えている。道路脇に樹木の植栽又は花壇の設置も考えられる。県の所有地も含まれるため、県との協議・許可が必要である。

骸が残っている状況があるが、どう考えるか。

A 町長 緊急度・危険度の高い所から年次的に改修していきたい。

A 観光交流課長 木柵は一番腐食の激しい所を対処する予定。自動販売機もシーズンオフに修繕する。投光器は早急に回収する。

Q 大滝付近の危険防止及び景観対策について、右側の転落防止の木柵が腐食している、大滝より15m手前の遊歩道に海苔が生えて滑りやすくなっている、自動販売機の小屋が壊れかけている、投光器の残

りかかっている、投光器の残りか



神川大滝入口の様子

道路工事

令和2年度に町道中鳥井線の改良工事を着工する予定は

町長

町全体の予算を見ながら決定したい

Q 町道中鳥井線の改良工事について、全線改良を何年位で見込んでいますか。また予算規模はどの

くらいか。また令和2年度の工事着工はあるのか。

A 町長 河上神社駐車場から国道448号

景観保全

国道269号線の鹿屋市との町境から皆倉バス停までを権限移譲を受けて管理する考えは

町長

来年度から国道269号線、448号線の2路線について権限移譲していこうと準備を進めている

Q 現在国道269号線の鹿屋市との町境から皆倉バス停まで大隅地域振興局が管理しているが、除草作業など権限移譲を受けて町で管理できないか。

移譲したいということ今準備を進めている。

Q 警察署からコメリの間は欠株のある植樹帯が多いが町長の考えは。

A 町長 枯れた植樹帯は振興局と協議をしていかなければならない。



欠株の多く見られる警察署～コメリ間の植樹帯

線までの553mの改良を計画しており、3年から5年位の期間を見込んでいます。予算規模は概ね2億円程度かと考えています。令和2年度の工事着工は、町全体の予算を見ながら決定したい。

ボランティア団体を組織して維持管理できればと思っ



川越 裕子 議員

学校教育

小学校統合に
ついてどう考
えるか

教育長

来年度から学校運営協議会を導入し、
保護者・地域住民の方が自由に話せる場
を作りたい

Q 来年度予算のうち、工
事請負費、修繕費及び
光熱水費はどのように推移
するか。

A 教育長 障がい児等対
策施設整備工事と学
校安全対策強化田代中学校
法面改修工事が緊急性の高
いものである。光熱費は約
2100万円、修繕費等は
600万円を考えている。

Q 来年度以降、改修や修
繕など大きなものはな
いか。

A 教育長 大根占小体育
館とプール、宿利原小
運動場、田代小体育館、錦
江中体育館の改修などを把

握している。

Q 児童生徒の数が減少す
ると切磋琢磨する機会
や競争の場が減り、部活動
が出来なくなると考えるが、
小学校の統合についてどう
考えるか。

A 教育長 来年度から学
校運営協議会の導入を
考えている。学校と地域住
民が協力して学校の運営に
取り組み、地域と共にある
学校づくりを推進する。保
護者や地域住民など幅広い
視点からの意見が出される
ものと考えている。



小学校統合について
これから考える必要があります

Q 小学校統合についてP
TA、保護者、子ども
へのアンケートを実施する
考えはないか。

A 教育長 地域、保護者
が自由に話せる場をま
ずは作りたい。どういう道
筋が必要かを検討していき
たい。

産業振興

「星空レストランin花瀬」を来
年度も開催する見込みはあるか

町長

金額、場所、時期、職員など総合的に考
えて来年度の当初予算を組む間に何ら
かの方向性を示したい

Q 過疎地域等自立活性
化推進事業で行われ
た「星空レストランin花瀬」
の効果をどのようにPRし
ていくのか。

A 町長 実施した結果
は新聞に掲載され、
町のホームページで紹介し
た。参加者にはSNS等で
多数情報発信していただい
た。現在当日のPR動画を
制作している。

Q この事業は単年度で
終わりが。今後もこ
のような催しは可能か。

A 町長 今回は高額の
3万円であった。金
額、場所、時期、職員など
総合的に考えて最終的な決
定をしたい。

Q 黒岩シェフと今後も
続けて、本町の商品・
加工品の開発に力を注いで
いただけないか。

A 町長 錦江町の食材
を対外的にアピール
して新たな特産品を開発
し、町や生産農家の収入に
繋げることが一番の目的だ
と考える。



美しい星空の下、花瀬石畳で
頂くフレンチは格別です



梁川 金治 議員

公約達成状況

マニフェスト
達成状況に
ついて問う

町長

マニフェスト5項目26事業中21事業に
着手し、5事業を達成した

Q 木場町長が就任して約2年が経過しようとしているが、マニフェストの達成状況について伺いたい。

A 町長 頑張る起業家の支援、浜の活力再生事業、

業支援、浜の活力再生事業、プレミアム商品券の継続拡充など着手し、小児科・産婦人科オンラインシステムを導入、地域交通の実証実験、女性・若者・シニア活躍応援事業、起業支援や公営塾、ふるさと納税返礼品の拡充などを実施した。
マニフェスト5項目26事業中21事業に着手し、5事業を達成した。未達成の16事業、未着手の5事業は着

手又は達成できるよう取り組んでまいりたい。

Q 女性が活躍する環境整備について町長はどのように考えているか。



小児科・産婦人科オンライン事業は第3回ふるさと納税自治体連合表彰を受賞しました

昨年は副町長と語る会を行ったが、その結果と成果は。

A 町長 副町長と語る会を10回開催し、約200名の方が参加した。

その中の意見を踏まえて今年度、商工会と連携して女性・若者・シニア活躍応援事業を立ち上げ、新しいビジネスに挑戦したいという方々を支援している。取り組み事例を重ねて他の方々へ波及していけばと期待している。

産業振興

再生可能エネルギーを利用して
ハウスの燃料のコストを
削減する考えは

町長

エネルギーマスタープランを現在策定中である。調査の結果を踏まえ、今後の農業施策に盛り込みたい

Q 再生可能エネルギーを利用してハウスの燃料のコストを削減することについてどう考えるか。

A 町長 国の補助事業により、エネルギー

マスタープランを現在策定中である。再生可能エネルギーの発電による電気又は排熱を利用した場合にどれだけの経費が節減出来るか可能性調査の結果を踏まえ、今後の農業施策に盛り込みたい。

Q 災害時の被災者への対応と避難所の対策について町長はどのように考えるか。



1月23日に錦江町マスタープラン策定委員会が開催されました

A 町長 再生可能エネルギー等を活用した電力の供給を今回の実証実験の結果を踏まえて検討したい。自然に優しいエネルギーを防災に使うためにどこにどのような施設を作った方が良いのか等を含め調査していただく。



浪瀬 亮祐 議員

建設事業

新年度の普通建設
事業費の予算編成
方針は

町長 必要性、緊急性等を十分に検討し、公益性、公平性、実現可能性を慎重に判断するよう指示した

分に減少している。

Q 建設事業費の縮減により工事発注も減少し、建設業者も廃業された所があると聞く。過去10年間の建設事業費の補助・単独事業費、町単の事業費はどのように推移するの

Q 新年度の普通建設事業費の予算確保について町長はどのような編成方針で指示しているのか。

A **町長** 過去10年間の建設事業費の推移は平成21・22年度は町単独のみで7億円台あり、平成23年から28年度までは補助・単独事業合わせて6億円から5億円で推移している。平成29年度は4億5千7百万円、平成30年度は3億7千5百万円となっており、10年間で約半



A **町長** 令和2年度は、普通建設事業費は全体で8億5千万円を限度とし、必要性、緊急性等を十分に検討し、公益性、公平性、実現可能性を慎重に判断した上で予算要求するよう指示した。

Q 単独の建設事業費を基金を活用しながら増額して建設事業者を育成する考えはないか。

A **町長** 基金を活用した建設事業者の育成については国・県の補助事業及び財源的に有利な起債を活用して実施したい。

町営住宅
田代地区への
町営住宅建設の考えは

町長 田代地区に限らず町内で新築の住宅を建てることは現時点では考えていない

Q 田代地区は、平成23年に大原もみじ住宅、平成26年に上原住宅が建設されたが、まだ入居希望者は多く、町営住宅増設の要望が出ている。田代地区への町営住宅の建設の考えはないか。

A **町長** 新たに町営住宅を作ることも、空き家の有効活用を図ることがまず先だと考える。空き家バンクに登録された物件の中からリフォームして町で借り上げ、住宅として貸し付けることが町にとっても財政的にも一番有意義だと考える。当面は田代地区に限らず町内で新築の住宅を建てることは現時点で考えていない。

Q 定住促進住宅は、高校生以下の子ども1人につき5千円を控除できるが、他の住宅においても同様とする考えは。

A **町長** 基本的には厳しい。対象となるのは定住促進住宅で、複式学級の解消を目的として実施しており、他の住宅もというのはいない。



大原地区の町営もみじ住宅

3月定例会は本庁で開催！ 傍聴してみませんか

3月定例会の会期は、
3月3日から19日
一般質問は、**3月18日(水)**の予定です。
役場本庁3階の議場へ
傍聴においでください。



表紙を **ウ** オッチ



2月2日、寒空のもと大原地区で「せっがい」が行なわれました。「せっがい」は「季節を変える」という意味が込められており、大寒の最終日である節分の日から立春へと季節が変わる節目の行事であるとともに、1年間の無病息災を願い、竹やぐらを豪快に焼く田代地区の伝統行事です。

この日は、昼過ぎから地元住民の方で竹切りなどの準備を始め、夕方から宴が始まり、午後5時半頃やぐらへの火入れが行われました。地元のご家族が中心となって豚汁やおにぎりを振る舞い、地元住民の方はほっこり温まりながらせっがいを囲み、勇ましく燃える炎を見つめながら願いを込めました。今年もみんなが元気に過ごせますように。

編集 後記

編集委員
川越裕子

令 和初めての新年、明けましておめでと
うございます。

旧年は地球規模で災害が多く発生した年でした。我が国でも災害復旧が進まず、生活や産業に支障をきたしている地域もあります。

若干16歳の少女グレタさんが国連の「気候行動サミット」で地球温暖化対策の即時実行を訴えました。私達はこのことを真摯に捉え、減災・防災対策を身近な問題として考え

ていきたいものです。

本年が平和な年になることを住民の皆様と共に祈りたいと思います。

◆議会報編集委員会

委員長 池迫 重利
副委員長 厚ヶ瀬博文
委員 笹原 政夫・川越 裕子
池田 行徳